



RI2600地区 諏訪グループ

会長 西澤賢二 幹事 宮坂陽子

例会 木曜日 PM12:30 例会場 ぎん月 事務所〒393-0033 長野県諏訪郡下諏訪町南高木 10616-88 TEL/0266-78-8755  
<http://www.suwakorc.net> Email:suwakorc@suwakorc.net ウィークリーの原稿送付先:pr@suwakorc.net

## 第1612回例会報告

令和1年8月29日(木) 晴

会長挨拶

「Squatter(スコッター)」

会長 西澤賢二

今日はSquatter(スコッター)について話をしたいと思います。

ま生活環境はトイレも水道も無い電気は最近LEDの普及でソーラーパネルを使い12Vのバッテリーで生活していますテレビなどで報道されますが、お墓に住み着き生活をしている人も大勢います。

我々諏訪湖ロータリークラブはCEBUの支援から色々な生活環境を観て支援してきましたが、彼らの生活をすぐに大きく変えることはできません、鍵盤ハーモニカを使った音楽教育などの支援から多くのスコッター環境から抜け出せる力を養えるような子供たちが育つ支援が出来れば良いと思います。日本でも東京近郊の荒川・多摩川の河川敷に自設小屋の集落が存在し生活が営まれています又、空き家も大きな問題で850万戸あると言われています。



フィリピンと日本では状況が異なりスコッターとして住む人の多くは停職にもつけずそこで生活する事しかできない人達で、家を借りるにもお金が無く家賃も払えないため仕方なく生活しています。

しかし逆に退去するための費用を求め住み続ける人も大勢います。

### 幹事報告

#### 【報告事項】

1) 10月27日に開催されます地区大会の出欠表を回覧しますのでご記入ください。

#### 【連絡事項】

1) 10月27日に開催されます地区大会の出欠表を回覧しますのでご記入ください。

#### 【受領文書】

- 1) 財団NEWSが届いています。回覧します。
- 2) 月信が届いています。レターBOXにいらてあります。ご確認ください。

| ♪出席報告 |       | ♪ニコニコBOX |         | ♪今週のことば  |
|-------|-------|----------|---------|--|
| 会員数   | 37人   | 5名       | 10,000  | 35周年記念事業の企画立案と実行を期待しまして。 御子柴 文夫<br>元気ですか 大澤 邦彦<br>本日はご苦勞様です。例会中、ゆっくりお休みください。 萩田 均<br>戻って参りました。また、宜しくお願ひいたします。<br>宮坂 陽子 |
| 出席対象  | 36人   | 累計       | 122,000 |  |
| 出席者数  | 25人   | 目標額      | 60万円    |  |
| 出席率   | 64.9% | 達成率      | 20.3%   |  |
| 前回修正  | 85.7% |          |         |  |

## 【第 1612 回例会】

## ～第 38 回クリーン祭を終えて～



8月11日(山の日)に下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)による第38回諏訪湖クリーン祭がありました。2016年以前はみずべ公園において8月初旬の日曜日にしていましたが、2017年から赤砂崎公園において山の日の実施になり今日に至っています。今回の総参加数は250名の参加をいただき小学生湖上観察会においては約90名の乗船をしていただきました。

湖浄連は1980年(昭和55年)8月9日に下諏訪青年会議所(JC)と町内10団体が核となり参加団体50団体の力を借り、大沢会長(大沢会員)のもと設立しました。以前から下諏訪JCでは住民アンケート調査(長崎会員河西会員と中心に)住民のニーズを把握し、その問題の解決のためのプログラムを実施していました。大多数の住民の問題意識は諏訪湖の問題でした。1980年(昭和55年)といえば諏訪湖の汚染がピークとなっていた時期です。毎月実施している諏訪湖清掃は相当大変な作業でした。

1985年(昭和60年)御子紫会長(御子紫会員)のもと、日本河川協会など各種の表彰をいただき、クリーン祭はみずべ公園が定着し、参加人数も400~500人の多くの参加がありました。

1990年(平成2年)吉澤会長(吉澤会員)のもと第10回のクリーンが開催されNHKの取材を受けて、外部にアピールをして、次の年には環境庁長官表彰も受けました。

1994年(平成6年)私が会長の年、設立15周年を迎えCWニコル先生の記念講演会を実施しました。年間清掃参加者もこのころが最大人数で、次の年6160人2003年は6250人の参加をいただきました。

2001年には諏訪圏のJCが合併して一つになり、湖浄連の会長も以降、JCの下諏訪出身者になっていきました。

来年設立40周年になる湖浄連はごみの減少、諏訪湖アダプトプログラムとの競合もあり清掃人数は減っています。しかし手を止めず、ごみ拾い調査を通して教育プログラムを実施していく使命があります。会長のなり手を探しているようですが、JCが今後もかかわっていかなくてはうまく運営できません。今後のJCに期待します。クリーン祭においても参加者の減少が危惧され、近年子供の参加が減少してきたところ河西会長の発案により森山会員の遊覧船を活用して子供を増やすことをロータリークラブが担いました。地区資金や地区教育資金を活用して、湖浄連のクリーン祭総予算と同等の費用を使い2017年高山会長の年には約100名の乗船、2018年北原会長の年には120名の乗船、本年西澤会長年度は約90名の乗船でした。今後も私たちロータリーを含め、様々な団体があの手この手を駆使して環境に取り組むことが大切と思います。

ミアサガオ

アサガオ

photo by 小林会員

